

令和6年度 業務概要



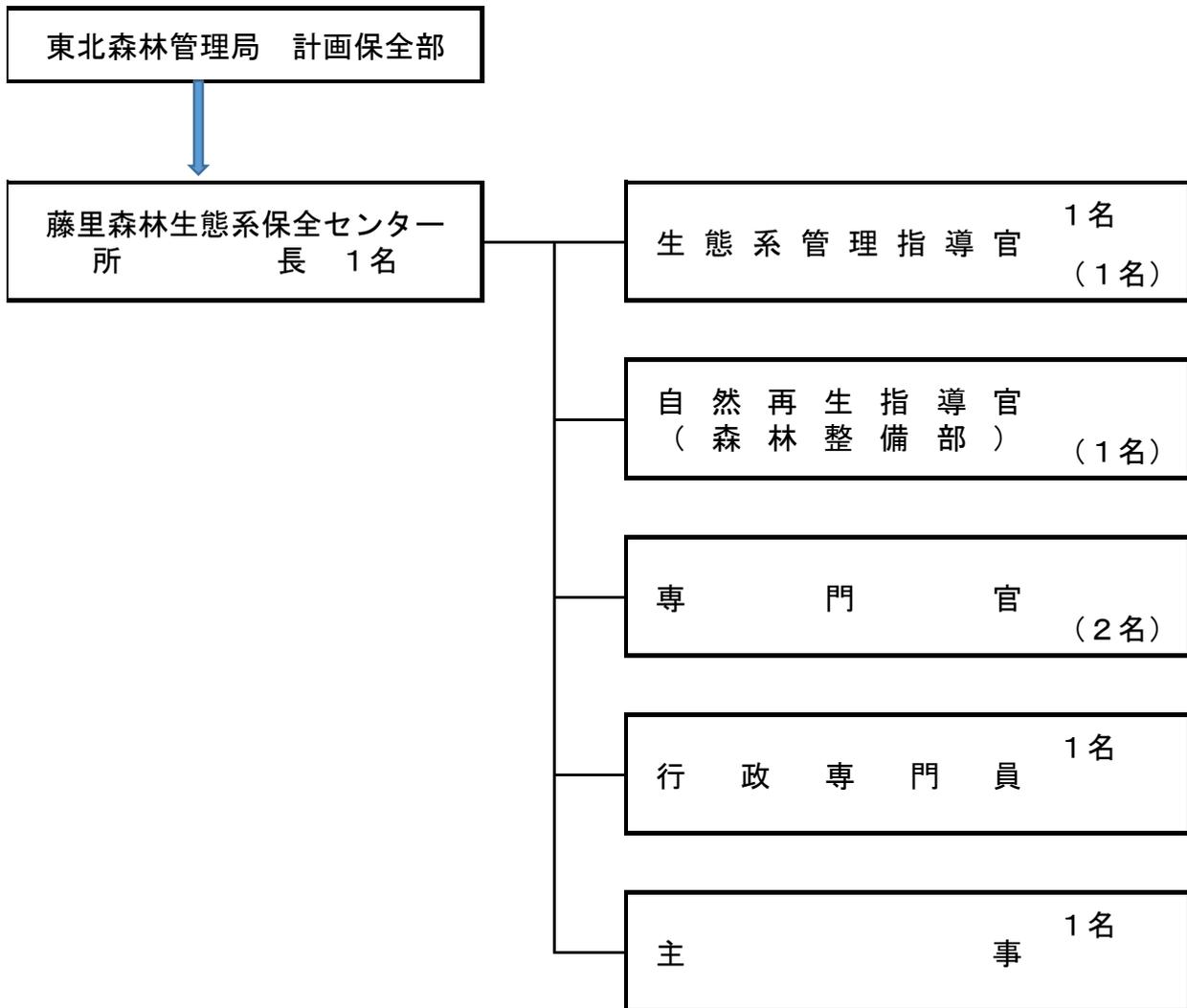
白神山地の新たなシンボルツリー「岳岱大ブナ」

東北森林管理局
藤里森林生態系保全センター

TEL 0185-79-1003 e-mail t_fujisato@rinya.maff.go.jp
HP <http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/huzisato/index.html>

組 織 図

組織図（令和6年4月1日現在）



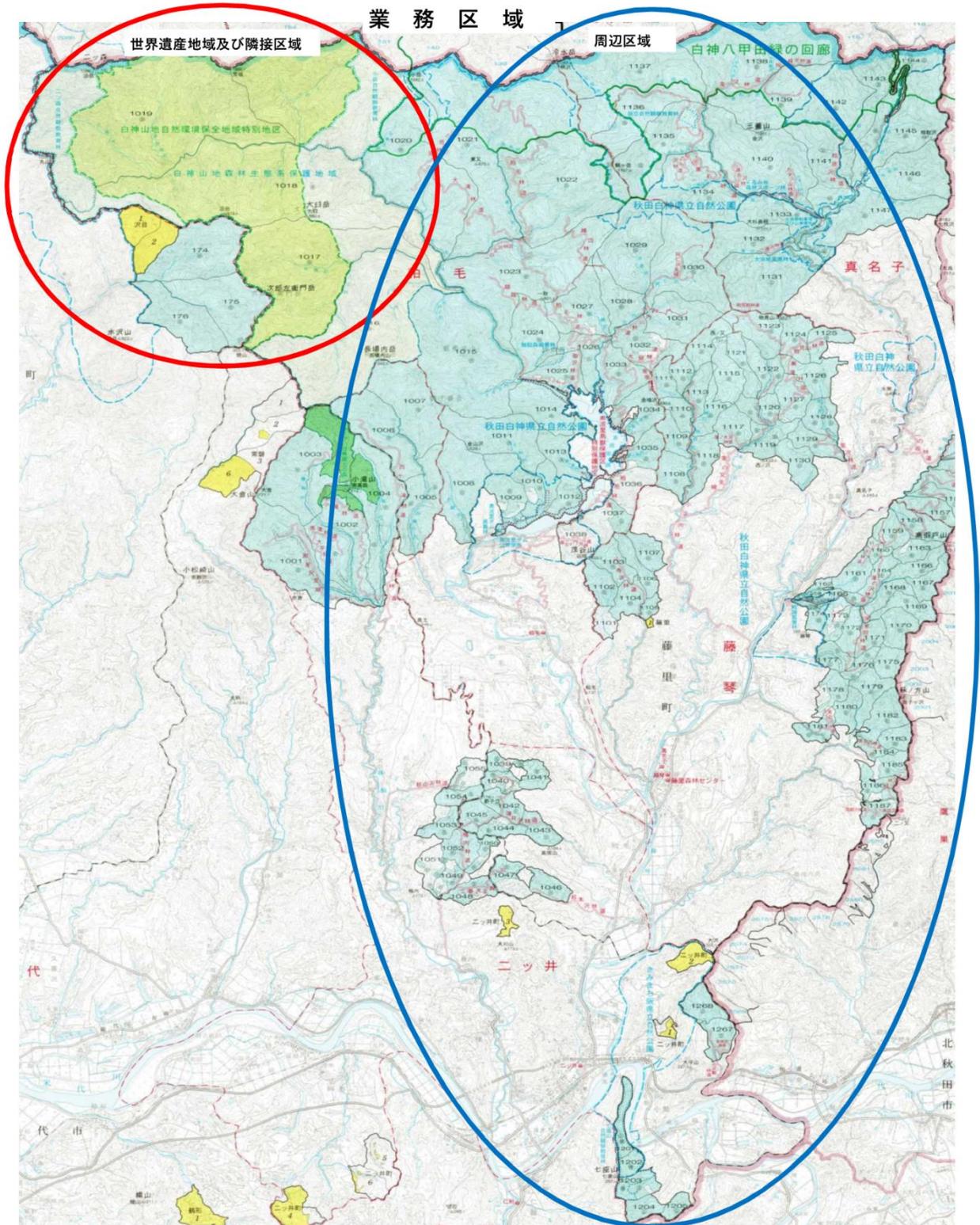
配 属 職 員 合 計 5 名

※ () は定員数

業務対象区域の紹介

1 業務対象区域

白神山地森林生態系保護地域【白神山地世界遺産地域（以下「遺産地域」という。）】及び同周辺地域を業務対象区域としています。（能代市・八峰町・藤里町）



2 業務対象区域の保護林、レクリエーションの森等

(1) 保護林

◎白神山地森林生態系保護地域（遺産地域）16,971ha（うち秋田県側 4,344ha）



小岳頂上から核心地域



核心地域のブナ林

参考

「白神八甲田緑の回廊」は、保護林同士を連結して、連続した自然林を回復することにより、本来生息・生育する野生動植物の広域的なつながりを確保し、分断された個体群の相互交流、生物多様性の保全に資することを目指しています。白神山地森林生態系保護地域から、青森県と秋田県境の分水嶺沿いに約2kmの幅で十和田湖周辺まで、津軽署・三八上北署・米代東部署・米代西部署にまたがり設定し、面積は約22,000ha、そのうち保護林が約18,000ha、米代西部署管内は12,504haが指定されています。

(2) レクリエーションの森(レク森)等

1) レク森

単位 面積：ha

自然観察教育林		森林スポーツ林		風致探勝林	
名称	面積	名称	面積	名称	面積
だけだい岳岱	11.78	くるみ台	4.22	がろう峨瓏	17.23
ニツ森	334.35	—	—	だいらぎょう太良峡	51.31
小岳	281.15	—	—	—	—
ななくらさん七座山	98.50	—	—	—	—



岳岱自然観察教育林（林内）



多目的展示施設

藤里森林生態系保全センターでは、岳岱自然観察教育林の多目的展示施設の維持管理を行っています。施設内には、休憩や昼食等で使用できるように丸太イスとスギのテーブル、岳岱自然観察教育林の案内図、パンフレット、岳岱及び白神山地のジオラマ等を設置し紹介するとともに、スケッチブックや雑記帳を置いて、訪問者が自由に思い出や感想、意見が記帳出来るようにしています。記帳内容については、巡視の際に内容等を確認し皆さんのご意見、ご感想を業務の参考とさせていただきます。

2) 県立自然公園

ア 秋田白神県立自然公園

県立自然公園の再編により平成 16 年 8 月に指定。従来から指定されていたきみまち阪県立自然公園と八森岩館県立自然公園の一部を分割して設定されました。

藤里町では小岳、藤里駒ヶ岳、田苗代湿原、峨籠大滝、太良峡、釣瓶落峠、素波里湖が含まれ、八峰町には真瀬岳、水沢山、真瀬溪谷などが含まれます。

イ きみまち阪県立自然公園

昭和 39 年 7 月に指定。きみまち阪を中心とする一帯 599ha が指定されています。七座山自然観察教育林も含まれます。



田苗代湿原のニッコウキスゲ



七座山（きみまち坂より）

業務内容の紹介

1 白神山地世界遺産地域及び周辺に関する業務

(1) 巡視活動

藤里森林生態系保全センターの職員による巡視活動は、遺産地域とその周辺の動植物など自然環境の把握を中心に行っていますが、ナラ枯れ等の森林病虫害による被害についても巡視活動を通じて行っています。また、巡視の際は、登山者等へ入山に際しての注意事項などを指導し、遺産地域の保護意識の普及啓発に努めています。

巡視にあたっては、職員のほか、民間ボランティアとして「白神山地世界遺産地域巡視員」を東北森林管理局長が委嘱し巡視活動を実施していただいています。

1) 合同パトロール

白神山地世界遺産地域連絡会議構成機関の職員及び各構成機関で委嘱等をしている巡視員により、登山者等に対する入山ルールの啓発指導、違法行為や標識類の状況を確認するため合同パトロールを実施しています。



合同パトロール（粕毛川本流）



登山者啓発活動（八峰町二ツ森登山口）

2) 巡視管理棟の保守管理

白神山地世界遺産地域巡視員（ボランティア）の方々などの巡視の拠点や、登山者の休憩施設などとして活用してもらうために設置した巡視管理棟（小岳、水沢、二ツ森）の保守点検（施設の異常の有無の点検、ボルトの締め付け、雑記帳の点検、清掃、備付用具類の点検など）を行っています。

また、積雪により窓ガラス等が損傷しないよう、晩秋には雪囲いを行い、翌年春に開放しています。

注：令和5年7月豪雨災害により、水沢と二ツ森には現在アクセスできません。



水沢巡視管理棟

3) 白神山地世界遺産地域巡視員会議の開催

東北森林管理局では、巡視員及び環境省や県、地元市町等と連携を図りながら、地域と一体となった巡視活動を展開し、遺産地域の保全管理に努めています。こうした巡視活動等についての意見・情報交換を行い、今後の巡視活動に役立たせるため、年2回、巡視員会議を実施しています。



令和5年度巡視員会議

(2) 各種調査等

1) 原始的ブナ林の長期変動調査

遺産地域のブナ林内に固定調査区を選定し、寒冷・多雪な気候下にある原始的なブナ林の長期的な変動を明らかにするため、また、自然環境の変化等を的確に察知し、遺産地域の順応的管理に資する観点から基礎データの収集を行うためモニタリング調査を毎年実施しています。

2) 中・大型哺乳類調査

白神山地世界遺産地域連絡会議で策定された「白神山地世界遺産地域モニタリング計画」に基づき、「ブナ林における動植物の多様性が適切に保護されていること。」をモニタリングするため、遺産地域の周辺地域において中・大型哺乳類の生息状況の把握のためセンサーカメラによる定点調査を実施しています。この調査では、遺産地域周辺で森林生態系に大きな影響を及ぼす可能性があるニホンジカの子撃情報が相次いだことから、平成26年度からニホンジカの生息状況についても併せて調査しています。

令和5年度は5月から11月まで、センサーカメラを28台設置し生息状況等を調査して



イノシシ (10月)



ニホンジカ (9月)

います。また、冬期間においては、ニホンジカの越冬地の調査のため同じくセンサーカメラを国有林に2台、民有林には八峰町との連携により4台設置し越冬状況の調査をしています。得られたデータは、白神山地世界遺産地域科学委員会に提供するなど、今後のニホンジカ対策に役立っています。

3) モニタリング調査の実施（田苗代湿原）

田苗代湿原は、春はミズバショウ、夏はニッコウキスゲが咲き乱れる美しい湿原ですが、乾燥化による植生の遷移を把握するため、地上からと、ドローンを使用して上空からも定点撮影を実施しています。



ドローンによる第2湿原（令和4年6月）



ドローンによる第2湿原（令和5年6月）

4) マツノクロホシハバチによる食害調査

世界遺産緩衝地域に隣接する小岳には、通常より標高の低い位置に自生している貴重なハイマツ林植生があり、過去にマツノクロホシハバチによる食害が発生したことから毎年、被害の調査を行っています。



令和5年度は食害の確認なし



ハイマツの群生（9月）

2 森林環境教育支援

1) 森林環境教育の支援

白神山地の生態系保護や森林・林業の普及啓発を図るため、地方公共団体及び教育機関等からの要請を受け、藤里森林生態系保全センター研修棟での展示室や実習室を活用した森林教室や木工クラフト、岳岱自然観察教育林等での自然観察会など森林環境教育を支援しています。令和3年度に、藤里森林生態系保全センター研修棟をリニューアルし、展示室と実習室を整備することにより、教育機関等からの要請に応じやすくし、森林環境教育プログラムも柔軟に対応出来るように作成しました。

令和5年度実績

実施内容	参加者	実施場所	参加人数	主催者	備考
岳岱探検事前学習 岳岱探検	藤里幼稚園 年長園児	藤里森林生態系保全センター研修棟 岳岱自然観察教育林	5 8	藤里幼稚園	講師派遣
白神山地ゼミ合宿 (エコツーリズムの一環)	獨協大学 2年生 獨協大学 3年生	岳岱自然観察教育林	21 16	獨協大学	講師派遣
植林体験 自然観察会	能代高校二ツ井キャンパス校 1・3年生 1年生	私有地 岳岱自然観察教育林	40 21	あきた白神の森倶楽部	講師派遣
町づくり学	藤里学園 7年生	藤里森林生態系保全センター研修棟	15	藤里学園	講師派遣
缶バッジ製作 パネル展示外	-	藤里町体育館	-	藤里町	スタッフ



藤里幼稚園岳岱探検



能代高校二ツ井キャンパス校 岳岱自然学習

2) 藤里森林生態系保全センター研修棟の紹介

ア 展示室

展示室では、白神山地の紹介や森林環境教育を目的として、樹木の標本や写真で見る草花や昔の林業風景、センサーカメラで撮影された動物たちなど多岐にわたる写真を展示しています。

園児から大人まで、目的とテーマに対応した森林環境教育が可能となっています。

イ 実習室

実習室では木工クラフト体験が出来るように工具類やクラフト材料を用意しています。

材料は小枝や、枝の輪切り、ホオノキの実、松ぼっくりなど「白神山地で採れた材料」のほ

か、飾り付け用の小物も用意しています。
また、森林環境教育の思い出として缶バッチの作成もできます。

展示室の様子



展示室



様々な木の標本



昔の林業風景と林業機材



センサーカメラに写った動物たち

実習室の様子



木育実習室



木エクラフト材料（右上は「もっくん」）

4) 広報活動

藤里森林生態系保全センターの業務紹介のほか、巡視員やガイド協会等からの寄稿により、広報誌「白神通信」を発行しています。また、藤里森林生態系保全センターWebサイトでも、業務紹介や白神山地に関する情報やお知らせ、「白神通信」の掲載など情報発信に努めています。

URL <http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/huzisato/>

白神通信



新たなシンボルツリー「岳岳大ブナ（左）」と「こまいぬシナノキ（右）」

[contents]

- ◆新たなシンボルツリー「岳岳大ブナ」と「こまいぬシナノキ」・・・P2
- ◆令和5年度「中・大型哺乳類調査」「ニホンジカ生息地域調査」開始・・・P5
- ◆インバウンド 台湾からの来訪者・・・P7
- ◆藤里幼稚園「岳岳探検」・・・P7
- ◆令和5年度第1回白神山地世界遺産地域巡視員会議・・・P10
- ◆令和5年度第1回合同パトロール・・・P11
- ◆小岳巡視員のヤマネ・・・P11

No.108号表紙（令和5年8月24日号）

令和5年度第1回合同パトロール

令和5年度第1回白神山地世界遺産地域合同パトロール（秋田県側）は、白神山地世界遺産地域巡視員、白神山地世界遺産地域連絡会議構成機関により、7月8日に実施しました。

今回は、小岳コース（23名）と、稲毛川コース（18名）の2コースで実施し、入山者へマナー向上の普及啓発パンフレットを配布するとともに、登山道の安全確認、立木の伐採・損傷や植物の採取などの違法行為、ゴミの投棄、病虫害等被害の有無について確認をしました。

パトロール終了後、全員が集まって意見交換会を実施し、登山道の安全確保等々について活発な意見交換がありました。

今回、パトロールを実施した範囲では遺産地域での違反行為等はなく、引き続き巡視員や合同パトロールを実施し、広く入山マナーの普及啓発に努めます。





小岳コース 稲毛川コース パトロール後の意見交換会

小岳巡視員のヤマネ

5月23日、小岳の白神山地巡視管理棟の冬囲い解放と掃除をしていたところ、空段ボールの中に木の皮や雑草の切れ端が詰まっていた。誰かのイタズラかなと掃除しようとしたところ、中から3匹のヤマネがこんにちは、どうやら巣材を持ち込んでいる様子で冬眠していたようです。

生態系保全センターとしては、巡視棟を野生の生きものも利用していたことをうれしく感じました。

もう春ですと、そっと山に戻しましたが、今年の冬もヤマネに利用していただけるよう、冬囲いの時に空段ボールを増やしてあげようかと考えています。




巣材の中からこんにちは かわいいヤマネ

No.108号掲載記事（令和5年8月24日号）

文字サイズ **標準** 大きく

キーワードから探す Google 検索

森林管理局へようこそ
報道・広報
森林管理局の仕事
公開・入札情報等
リンク集

ホーム > 森林管理業務の所在について > 藤里森林生態系保全センター

藤里森林生態系保全センター



業務紹介

- > センター概要
 - > 詳細版はコチラ(PDF: 3,562KB)
- > 広報誌「白神通信」(令和4年12月26日更新)
- > 中・大型哺乳類モニタリング調査(令和4年5月18日更新)
 - > センターカメラに写った動物たち
- > 白神山地世界遺産地域合同パトロール(秋田県側)
- > 白神山地巡視記録
 - > 巡視中に出会った生き物たち
- > 森林環境教育の取組紹介
 - > 森林環境教育の支援
 - > ホエクラフトがしたい!
 - > ありがとう400年ブナ
- > GO to 東北
- > センター共催イベント『森林講座』
- > 令和3年度 白神エリアのイベント一覧 (最新情報を主催者までご確認ください。)

新着情報

Web サイト トップページ

文字サイズ **標準** 大きく

キーワードから探す Google 検索

森林管理局へようこそ
報道・広報
森林管理局の仕事
公開・入札情報等
リンク集

ホーム > 森林管理業務の所在について > 藤里森林生態系保全センター > ありがとう400年ブナ

ありがとう400年ブナ



「400年ブナ」斬れる

令和4年9月21日に白神山地世界遺産地域巡視員より、岳岳目跡観察教育林内の400年ブナが倒れたとの連絡がありました。

積雪のため通行止めになっていた奥通二井森管理棟の解放を持って東北森林管理・米代西部森林管理・藤里の合同による現地調査が行われました。令和5年の調査の進行目的に11月4日には立木として確認されており、その山の確保、積雪により倒壊したものと見られます。樹幹には腐食が進行していること、樹幹の土が盛り上がりしていることから推察、または樹皮に腐った菌の菌糸が成長を妨げていること、また倒壊したものと推測されます。

倒れた400年ブナは幹系根幹と協議の結果、現地にそのまま保存し森のサイクルを絶たずに観察できる場所とし、天然素材の椅子についても観察していくことになりました。白神山地のシンボルとしてを冠した400年ブナは倒壊してからも白神のシンボルとして、また、森林環境教育の教材としての存在感を失わずとしよう。

Web サイト 掲載

組織の経緯

昭和 4 年 5 月	荷上場営林署から分割、藤琴営林署設置。
昭和 3 1 年 6 月	藤里営林署に改称。
昭和 5 0 年代後半	春秋林道建設反対運動起こる。
平成 2 年 3 月	白神山地森林生態系保護地域を設定。
平成 5 年 1 2 月	世界遺産委員会が白神山地を世界遺産に登録決定。
平成 7 年 3 月	藤里営林署と二ツ井営林署を統合し二ツ井営林署。 秋田営林局指導普及課の内部組織として藤里森林センターを設置。 庁舎は、旧藤里営林署庁舎を使用。
平成 8 年 1 1 月	小岳に巡視棟が完成。
平成 9 年 4 月	藤里森林センターの一般会計移替。
平成 9 年 1 1 月	水沢に巡視棟が完成。
平成 1 0 年 1 1 月	二ツ森に巡視棟が完成。
平成 1 1 年 3 月	秋田営林局が東北森林管理局に組織再編。 能代営林署、二ツ井営林署、五城目営林署を米代西部森林管理署に組織再編し、二ツ井事務所、五城目事務所を設置。
平成 1 3 年 8 月	二ツ井事務所・五城目事務所の廃止。
平成 1 3 年 1 2 月	藤里森林センター事務所棟の新築移転。
平成 1 4 年 1 2 月	事務所棟の隣に研修棟を新築。
平成 1 5 年 1 2 月	岳岱自然観察教育林の歩道整備と多目的展示施設を設置。
平成 2 5 年 4 月	組織再編に伴い、藤里森林生態系保全センターに名称変更。



藤里森林生態系保全センター

Web サイトトップページ

QR コードはコチラ ↓



東北森林管理局広報

「みどりの東北」

QR コードはコチラ ↓



東北森林管理局

ホームページ

QR コードはコチラ ↓

